

愛知県の長期計画の推移と概要

計画の名称	愛知県地方計画 (第1次)	愛知県地方計画 (第2次)	第3次愛知県 地方計画	愛知県地方計画 1976～1985 (第4次)	第5次愛知県 地方計画	愛知県21世紀計画 (第6次愛知県地方計画)	新世紀へ飛躍～愛知 2010計画 (第7次)	新しい政策の指針	政策指針2010-2015	あいちビジョン2020
作成時期	昭和33年12月15日	昭和37年8月17日	昭和45年1月26日	昭和51年3月24日	昭和57年3月29日	平成元年3月27日	平成10年3月27日	平成18年3月31日	平成22年3月29日	平成26年3月31日
計画期間 (計画年数)	昭和33年度～40年度 (8か年)	昭和36年度～45年度 (10か年)	昭和45年度～60年度 (16か年)	昭和51年度～60年度 (10か年)	昭和57年度～65年度 (9か年)	平成元年度～21世紀初頭 (おおむね15か年程度)	平成10年度～平成22年度 (13か年)	平成37年頃までの長期を展望し、27年まで(10年程度)	平成22年～27年 (6か年)	平成42年頃の社会経済を展望し、32年まで(7年程度)
計画の特色	○中部経済圏 ○県土利用と都市・農村の適正配置	○中京広域都市圏構想 ○三内陸・三臨海の工業拠点開発	○中京広域都市圏と伊勢湾の将来 ○都市圏整備	○資源・環境制約型の計画 ○流域を中心とする地域づくり (流域圏づくり)	○課題設定型の計画 ○定住生活圏整備	○ビジョン型で重点性をもった計画 ○日本・世界を視野に収めた地域づくり (国土中枢軸/産業技術首都/新伊勢湾都市圏/国際博覧会)	○策定・推進の段階での横断性・総合性を重視 ○地域づくりの担い手や行政区域の枠を越えた連携・協力を重視 ○ビジョン型計画の柱として中部国際空港・国際博覧会を様々な分野や各地域で生かす方向の提案を重視	○総合的・体系的な地方計画に代わり、これからの愛知の方向性を明らかにする戦略的・重点的な地域づくりの羅針盤として策定 (個別計画等を策定している分野については、原則として、その施策・事業等の推進はこれに委ねる)	○時代環境に合わせて柔軟な見直しを行うとする政策指針の趣旨を踏まえた改定 ○社会経済の構造変化を踏まえ、地域づくりの3つの視点を提示 (「つながり・絆」、「持続可能性」、「風格」)	○リニア開業後の大都市圏像(中京大都市圏)とその実現に向けた戦略を提示 ○県内3地域別の将来像や地域づくりの方向性を提示
計画の目標 (理念)と計画作成の背景	○総合性と計画性を求めている ・特定地域の開発から県域の総合開発へ ・行政の計画性を求めている ○大都市名古屋との関連の問題 (市町村合併等)	○国民経済の発展と地域住民の福祉向上 ○府県合併論の台頭 <改定要因> ・伊勢湾台風の被災 ・国民所得倍増計画への対応 ・短期計画を上回る県経済の拡大	○新しい地域社会の建設 <改定要因> ・新地方計画の延長・増補 ・新しい課題への対応 ・新全総計画への対応 ・中部圏基本開発整備計画への対応	○住みよい愛知県づくり <改定要因> ・3次計画中間年度の見直し ・オイルショック後の新展開への対応	○人間性と活力にあふれた愛知県づくり <改定要因> ・4次計画中間年度の見直し ・21世紀へ向けての長期課題への対応 ・国の各種計画改定への対応	○世界に開かれた魅力ある愛知 <改定要因> ・5次計画の目標年度の到来 ・21世紀初頭へかけての社会経済変化への対応 (国土づくりの枠組みの変化、世界経済の進展等) ・国の各種計画改定(四全総、経済運営5カ年計画等)への対応	○人と地域の個性が輝き、交流・創造の拠点となる愛知 <改定要因> ・従来の予想を超える社会経済情勢変化への対応 ・中部国際空港、国際博覧会など21世紀への飛躍の基盤となるプロジェクトを活用した地域づくりへの対応 ・新しい全国総合開発計画の策定等への対応	○今を越え、さらに世界で輝く愛知県づくり <改定要因> ・愛知万博開催と中部国際空港開港の二大事業を実現した後の新たな地域づくりへの対応	○安心、希望、そして風格ある愛知へ <改定要因> ・世界同時不況による経済環境の悪化など社会経済情勢の大きな変化 ・2010年を目標としたマイルストーン事業の進捗	○日本一の元気を暮らすの豊かさに <改定要因> ・リニア中央新幹線建設に向けた事業の進展 ・東日本大震災を契機とした防災、エネルギー等の政策面の見直し
計画の構成	○総合振興計画 ・総合部門 ・水政部門 ・交通部門 ・農林水産業部門 ・商工業部門 ・文化厚生部門 ○地方行政合理化計画	○総説 ○計画の背景 ○県総合計画 ・総合基本計画 ・産業の振興 ・人的能力の向上及び生活環境の整備 ・産業及び生活基盤の整備 ○地域開発計画 ○行政合理化計画	○総説 ○計画の背景 ○総合計画 ・県勢の見直し ・土地利用 ・県民生活の充実 ・社会保障・社会福祉の充実 ・教育と文化の振興 ・産業の振興 ・労働力の活用と労働福祉基盤の整備 ○地域計画	○序説 ○21世紀への展望 ○総合計画 ・あいち1985年 ・健康で安心して暮らせる地域づくり ・心の豊かさをはぐくむ地域づくり ・快適な住まいと生活環境のための地域づくり ・暮らしの豊かさを支える地域づくり ○地域計画 ○計画実現への課題	○総説 ○愛知の将来一計画のフレーム ○県土の基本構想—環伊勢湾都市圏構想 ○21世紀へ向けての5つの重点課題 ・生きがいと文化を育てる参加型社会の形成 ・高齢化社会への対応 ・頭脳産業エリアの形成 ・危機に強い地域づくり ・国際的きずなと広域連携 ○部門別計画 ○地域別計画 ○計画達成のために	○総説 ・21世紀めざして計画の構想 ・日本、世界のなかの愛知—その役割と位置づけ— ○21世紀の愛知 ・生活のビジョン ・産業経済のビジョン ・県土のビジョン ・主要プロジェクトの展開(安心あいち地域福祉システムなど10プロジェクト) ○部門計画 ○地域計画 ○計画達成のために	○計画策定の趣旨 ○新しい愛知づくりの基本目標 ・これからの時代認識 ・地域づくりの基本とする視点 ・計画の基本目標 ○2010年の愛知 ・生活のビジョン ・産業経済のビジョン ・県土のビジョン ・世界的な交流・創造拠点としての愛知の発展 ○分野別計画 ○地域別計画 ○計画推進の基本姿勢	○新しい政策の指針とは ○愛知の将来展望 ・長期的な視点 ・広域的な視点 ○愛知の地域づくりの基本目標 ○基本課題及び柱となる政策の方向 (「産業や文化を世界に発信する国際交流大都市圏づくり」をはじめ8つの基本課題を設定) ○新しい政策の指針の推進について	○「政策指針2010-2015」について ○社会経済情勢の変化と2015年に向けた地域づくりの視点 ・大転換期の社会経済 ・2015年に向けた地域づくりの視点 ・行財政改革の取組と一体となった政策指針の推進 ○2015年に向けた地域づくりの基本方針 ○基本課題と主要政策(「いのちを守る「安心・安全」の社会をつくる」をはじめ6つの基本課題を設定	○「あいちビジョン2020」について ○2030年の社会経済の展望 ○めざすべき愛知の姿 ○2030年に向けた地域づくりの戦略と基本目標 ○重要政策課題と主要な政策の方向性(「中京大都市圏」をはじめ12の重要政策課題を設定) ○地域別の取組方向 ○ビジョンの推進に当たって